スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

新潟県津南町

自 治 体 名 ： 新潟県津南町
担 当 課 名 ： 津南町教育委員会
電 話 番 号 ： 025-765-3134

1.自治体の基本情報

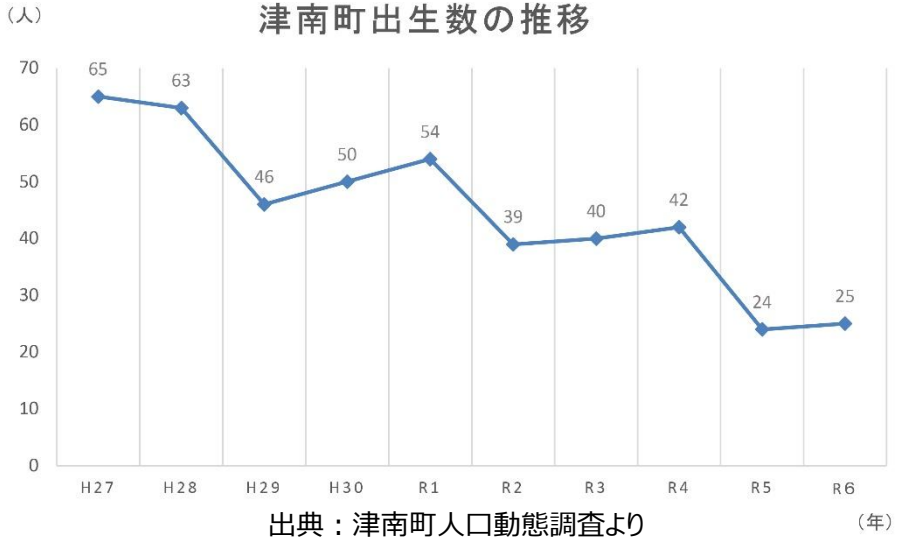
スポーツ庁

基本情報

面積	170.21㎢
人口	8,148人
公立中学校数	1校
公立中学校生徒数	123人
部活動数 （運動部活動のみ）	8部活
地域クラブ活動数	6クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

津南町における出生数の減少が近年顕著にみられ、団体競技は特にチームとして成り立たないことが懸念される。一方で、教職員の働き方改革により、教職員が担当する部活動で当該競技の専門性がない部活動もあり、教職員にとっても子どもたちにとっても最適な環境とはいいがたい状況である。そのため、生徒数に見合った部活動数に見直すとともに、活動の選択肢を広げていく必要性の双方を考慮しなければならない。令和4年度に教職員、保護者、児童生徒に対して部活動改革アンケートを行い、現在加入している部活動及び今後やってみたい部活動等について回答してもらい利用者目線での現状と課題を洗いだした。令和5年度から休日の部活動地域移行の試行実施期間として8種目において始まった。また、すでにクラブチームが主となって中体連の大会に出場してきた競技団体もある。今後、平日の地域移行を見据え、子どもたちが継続的にスポーツに親しむ機会を確保・充実のために近隣市町村との広域連携を進める。また県立津南中等教育学校との連携についても引き続き取組んでいく。



出典：津南町人口動態調査より

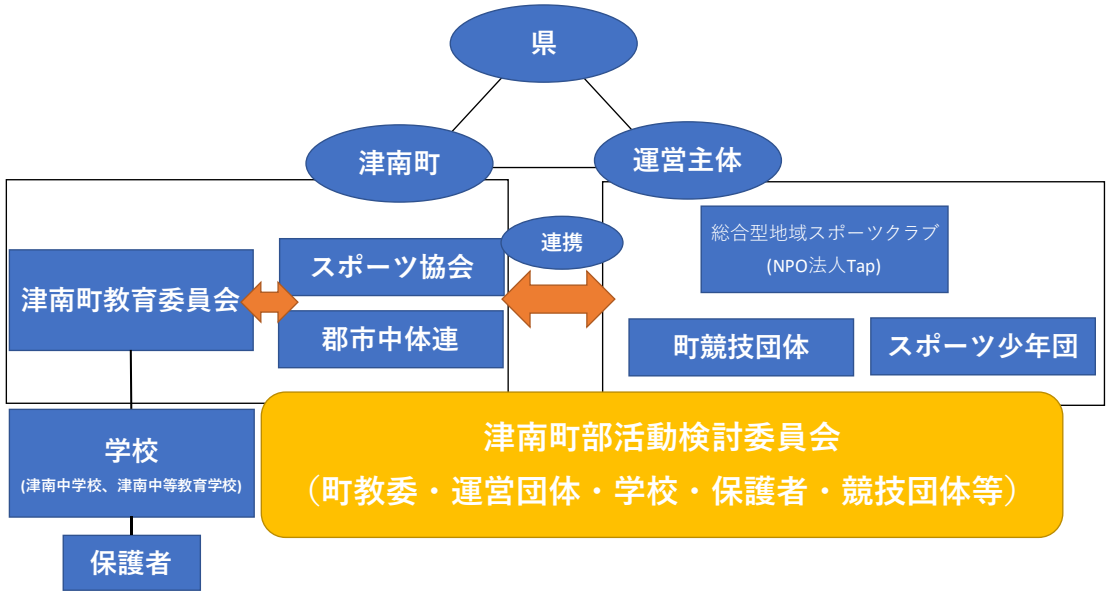
【課題】
今後も減少傾向は続いていくことが予想される。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
　学校・保護者・町内スポーツ団体をつなぐコーディネーター役として、津南町部活動検討委員会を開催し、部活動地域移行に関する認識を関係団体で共有する。また、学校と町内スポーツ団体の現状と課題を把握し、課題解決に向けて取組んでいく。

年間の事業スケジュール

令和7年4月	保護者説明会（入学説明会）
令和7年5月	入部説明会・体験入部
令和7年5月	部活動参加希望調査 休日の部活動地域移行参加希望調査
令和7年5月	スポーツ団体へ参加希望者の通知
令和7年5月～	各クラブ活動の実施
令和7年8月	第1回津南町部活動検討委員会
令和8年3月	第2回津南町部活動検討委員会
令和8年3月	津南中学校、津南中等教育学校入学説明会において生徒・保護者への説明会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		6クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		4クラブ（バレー、陸上、クロカン、アルペン）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		2クラブ（水泳、バドミントン）
全体の指導者数	14人	全体の運営スタッフ数	14人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費
津南町スポーツ少年団	スポーツ少年団	スキー（クロカン・アルペン） バドミントン	月1～2回	種目による	中学1年生～3年生	5月～3月	津南町総合センターほか	各2人	1人	年会費10,000円程度
津南町スポーツ協会	スポーツ協会	陸上 バレーボール	月1～2回	種目による	中学1年生～3年生	5月～3月	津南町総合センターほか	各2人	1人	年会費10,000円程度
Tap	NPO法人	水泳	月1回	17:30-18:30	中学1年生～3年生	5月～3月	クアハウス津南	2人	1人	月会費5,300円

③その他、体験会やイベント等の開催実績

令和7年4月に津南町スポーツ少年団とTapによるACP（アクティブチャイルドプログラム）の実施等、幼少期からの運動について体験会を開催した。

2.実証内容と成果

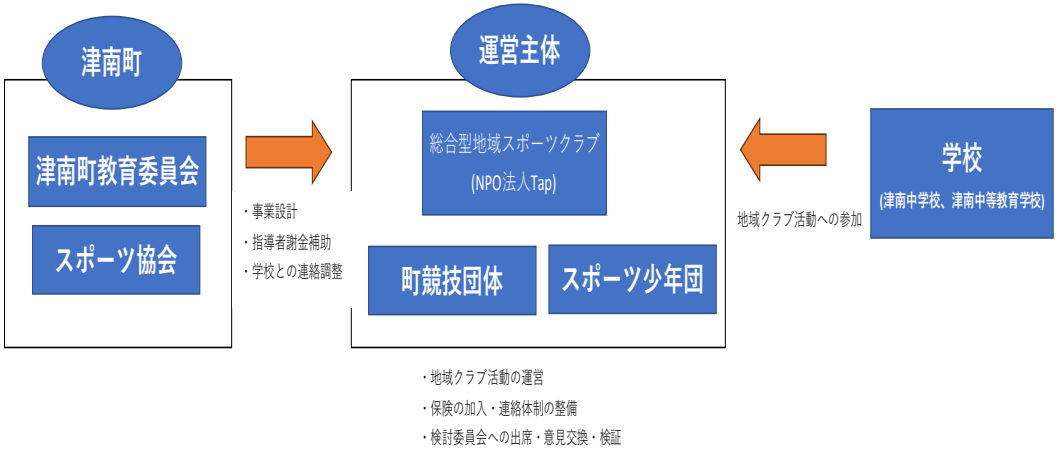
スポーツ庁

主な取組例

●地域クラブ　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	スキー（クロカン・アルペン）、バドミントン、陸上、水泳、バレーボール
運営団体名	津南町スポーツ少年団　ほか
期間と日数	5月～3月 月1～2回程度
指導者の主な属性	スポーツ少年団指導者
活動場所	町内公共施設
主な移動手段	保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	各種目：10,000円程度
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：1,000円/年 指導者1人あたり：2,050円/年

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

- 津南町教育委員会

  学校・保護者・町内スポーツ団体をつなぐコーディネーター。

  学校と町内スポーツ団体の現状と課題を把握し、課題解決に向けて取組む。

- 指導者各種目2名

  津南町教育委員会と連携を図りながら、子どもたちを指導し安全に目標達成をサポートする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

津南町は公立の中学校が1校であるため、教育委員会の担当職員がコーディネーターとして運営団体・実施主体と中学校の連絡調整を行う。また、部活動検討委員会を定期的に開催し、団体ごとの進捗状況や課題を確認し、公立中学校及び県立の津南中等教育学校とも情報共有や意見交換を実施する。

取組の成果

- 令和7年8月と令和8年3月に部活動検討委員会を実施し、地域展開受け入れ団体・スポーツ関係団体・県立中等教育学校を含む町内中学校・PTA担当者が集まり情報交換や課題の確認をすることができた。休日の部活動地域展開の完全実施に向けて現状と課題を確認することができた。津南中学校と県立津南中等教育学校の現状や考え方も共有することができた。
- 県やスポーツ協会のかたをお招きし、国の最新の状況や、課題感について共有する勉強会を共催した。津南町の現状を理解し、今後の津南町のスポーツの在り方について、より幅広い関係者で引き続き検討していく会を新たに設けることで令和8年度から進めることとなった。
- 保護者・生徒への説明会を開催し、実際にクラブに参加して活動することで現状と今後への理解を進めることができた。
- 十日町市や近隣市町村の担当者と情報交換をすることができた。また十日町市とは現状と今後の方針、また津南町との連携の可能性について具体的な意見交換をすることができた。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 津南町部活動検討委員会の開催
- 中学校において保護者・生徒への説明会の実施
- 各クラブの参加案内・取りまとめ
- 広域連携にむけて近隣自治体の担当者との情報交換

今後の課題と対応方針

部活動検討委員会については今後も定期的に開催し、関係団体で情報共有を図っていきたい。今後、平日の地域展開を見据えた際には、休日の地域展開とは異なる課題も多くあることが予想される。解決方法として近隣市町村との連携を探っていかなくてはならない。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和7年度においても継続して津南町部活動検討委員会を開催し、関係団体が集まり情報共有することができた。スポーツ6種目において進捗状況は異なるが、令和8年度の休日の部活動地域展開の完全実施に向けてそれぞれの立場で課題を確認することもできた。令和8年度以降も定期的に継続していく。また、休日の地域展開の先にある平日の地域展開を見据えて各クラブの在り方を考えるきっかけにもなっている。

また、各クラブが積極的に取組を進めていけるように町がコーディネーターとして国・県の方針や他の自治体の現状を伝えることができた。

生徒・保護者への説明会を開催し実際に活動が始まることで地域においても現状への理解が広がってきている。その一方で活動が進んでいくことで取組に対する疑問や不安の声に対して、町が責任主体としてどう関わっていくのか。を議論した1年となった。

●成果の評価

部活動検討委員会を開催することによって、各クラブの進捗状況や課題を確認することができた。また、各クラブに今後の部活動地域展開に関する国の方針等を伝えることによって、各クラブが今度どうしていくべきか考えるきっかけとなった。

保護者・生徒への説明会を開催することで部活動地域展開に対しての理解を進めることができた。

近隣自治体との情報交換をし、今後の方針・取組について確認することができた。

●今後に向けて

部活動検討委員会・生徒・保護者への説明会や関係団体との情報共有、実際に活動する生徒・保護者の生の声を聞く機会を継続していきたい。

各クラブの進捗状況は異なるが休日の地域展開について実施している。進捗が遅いクラブや課題に対しては町が積極的にサポートしていきたい。

町内の子供の出生数データにあるとおり、今後は今までのようなスポーツ団体の枠組みを維持していくことが難しい。今後ますます指導者の確保や、子どもたちがスポーツに触れる機会をどう維持していくか。保護者や今の小学生も含めて今後の在り方を丁寧に議論し検討していく。

また、今後平日の地域展開を見据えて近隣市町村との連携を図っていきたい。近隣市町村との連携の際に課題として想定されるのが、練習場所が遠方になることによる保護者の送迎の負担である。送迎の負担によって部活動を諦めてしまう生徒がでないように対応を検討していく必要がある。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

参加者の声

●参加者の声

中学2年生（バドミントン）
クラブチームで練習して大会にも出場することができて嬉しい。
道具がかなり高額になっているので、これからどうなっていくのか心配だ。

保護者
活動が充実しているクラブとそうでないところの差が大きいような気がする。どのクラブも子どもたちのためにがんばってもらいたい。

中学2年生（アルペン）
大会遠征等費用がかかるものがある。それらを補助してもらえるようになればありがたい。

保護者
十日町と合同で練習等を行うことが増えた。送迎や大会の遠征費等で補助があるとうれしい。次年度から参加費を徴収するということだが、中身について詳しく知りたい。

指導者（バドミントン）
今までの町の方向性と逆の内容が出てきて戸惑っている。しかし、保護者等からの参加費の徴収について、令和8年度以降の動きについて緊密な情報交換を期待したい。

指導者（スキー）
津南中等教育学校からも参加してくれる生徒や町外からの参加者も増えて嬉しい。他のクラブにも中等から参加してくれると人数も増えて活動が充実する。

指導者（陸上）
競技志向とスポーツを楽しむ層があると思う。楽しむ層をどのように拾っていくか。子どもの数が少なくなる中で、どのように体験の場の確保や活動を維持していくのか。今後も見据えて検討が必要と思う。

指導者（バレーボール）
チームスポーツは維持が難しい。土日の部活動が無くなり、大会等の引率が必要となるが、指導者も少なく高齢化もしているので、負担をどう減らしていくか。

2.実証内容と成果③

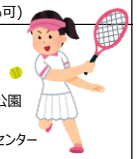
スポーツ庁

【令和7年度津南町休日の地域移行種目の概要】

※ソフトテニスは実施予定であったが申込無し&団体の都合により実働なし

参考資料

活動名	津南町スポーツ少年団			津南ランニングファン(TRF)	Tapスイミングスクール
種目	スキー（クロカン）	スキー（アルペン）	バドミントン	陸上（楽しむ）	水泳
運営団体	津南町クロスカントリースキースポーツ少年団	津南スキークラブアルペン部	SNOW-BIRD(スポ少)	津南町陸上競技協会	NPO法人Tap
活動方針	スポーツ少年団に入って 活動します！	スポーツ少年団に入って 活動します！	心と身体を育てて 大人への階段へ一歩 踏み出そう！	走ることを通じて、子どもから大人までが 関わり合って、部活動地域展開を目指します！	元気な心と身体を育てよう！ 水泳を楽しもう！
対象	津南中・津南中等前期生の生徒	津南中・津南中等の生徒	バドミントンスポーツ少年団加入者	誰でも参加可能	津南中・津南中等前期生の生徒 スイミングスクール参加者
練習日 会場等	冬季の土曜、日曜 マウンテンパーク津南スキー場	シーズン中の土日祝日 8:30~15:30 マウンテンパーク津南スキー場 ・オフシーズンの陸トレ (随時実施) 	週3回 15:00~18:00(月) 20:30～21:30(日、木、スポ少後) 津南町総合センター体育館	月１～２回、土日どちらか 9:00~11:00 ５月～11月：中津川運動公園 11月～３月：主に津南中学校体育館	選手コース（週5回） 17:30~19:30(月、火、木、金) 8:00~10:00または9:30~11:30(土) 週1回コース／週2回コース 17:30~18:30(月、火、木) 18:30~19:30(金) クアハウス津南 
大会参加	スポ少として計画する大会に参加 （中体連大会は各学校対応）	大会参加は学校単位が基本	地域クラブとして 中体連大会に参加 	年1回ローカル大会出場 	地域クラブとして 中体連大会に参加
経費	6,200円/年(スポ少団費) 	10,000円/年(スポ少団費)	12,000円/年(スポ少団費) 3,000円/月(クラブ費) +大会参加費	2,000円/月＋保険代	選 手コース 8,100円/月 週1回コース 5,300円/月 週2回コース 7,000円/月 ＋ 年間登録料2,200円(保険代含む)
その他	スポ少加入が条件	スポ少加入が条件 近隣チームとの合同練習あり	スポ少加入が条件	競技志向は他へ	町外生徒含む

活動名	津南ジュニアバレーボールクラブ	津南ソフトテニスクラブ
種目	バレーボール	ソフトテニス
運営団体	津南ジュニアバレーボールクラブ	津南ソフトテニスクラブ
活動方針	バレーボールに親しみ楽しもう！ 自分を表現しよう！強い絆で結ばれよう！	ソフトテニスをうまくなろう！
対象	津南中・中等前期生の部活動生徒 または部活外の希望者	津南中ソフトテニス部生徒 部活外の希望者(高校生も可)
練習日 会場等	月１回 地域の実情に応じて推進 8:30~11:30 津南中体育館 	月２回、土日どちらか 8:30~11:30 夏場 津南中または中津川運動公園 冬場 津南中または津南町総合センター 
大会参加	大会参加は学校単位が基本	大会参加は学校単位が基本
経費	スポーツ保険未加入の場合は保険料1,000円	検討中
その他		今後十日町との連携あり

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料



【陸上の活動の中で他競技にも触れる】



【部活動検討委員会で情報の共有】



【地域のイベントにも地域クラブとして参加し盛り上げる】



【クラブ活動でスキー大会への参加】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和3年	令和4年			令和5年	令和7年
受け皿団体や指導者の選定・依頼	▶ 部活動地域移行検討委員会	▶ 部活動改革アンケート	▶ 生徒・保護者への説明会	▶ 地域クラブ活動の開始	▶ 地域クラブ活動の拡大

●受け皿団体や指導者選定・依頼

津南町において部活動の地域展開を実施するために、指導者確保の観点からスポーツ関係団体、スポーツ少年団からの協力を得ることができた。

●生徒・保護者への説明会

津南中学校及び県立津南中等教育学校の入学説明会において生徒と保護者を対象に部活動地域展開の今後の進め方を説明し意見交換する機会となった。学校から説明会の場を提供してもらうことで多くの生徒・保護者と対面で話をすることができた。

●部活動地域移行検討委員会

令和4年度から検討委員会を定期的に実施。当初は休日の試行実施から本格実施に向けての検討会であった。実施にあたっての課題や進捗状況、他の自治体の取組について情報共有する機会となっている。
最近では平日の地域展開を見据えて各クラブがどのように取組んでいくのか考える契機となっている。

●部活動改革アンケート

部活動地域展開を進めるための参考とするため、教職員・小学生・中学生・保護者を対象にアンケートを実施した。アンケートはインターネットを活用し、学校に協力を依頼し1人1台端末を利用して学校で回答してもらった。結果として高い回答率となり今後の参考とすることができた。

●地域クラブ活動の拡大

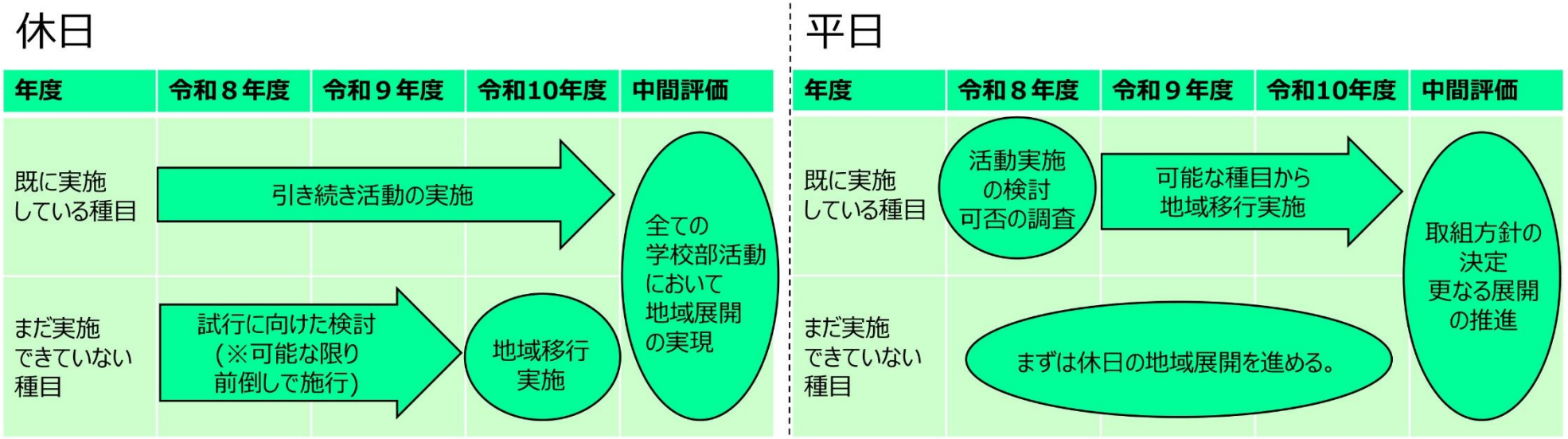
令和5年度は8クラブから試行実施をスタートしたが、令和6年度からは1クラブ増え9クラブでの活動となった。年度途中からは平日の地域移行も見据え十日町市と連携するクラブもでてきた。その一方で進捗の遅いクラブもあるので、町がコーディネーターとして課題を把握しサポートしていく。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

今後の部活動地域展開（改革期間前期）のスケジュール



部活動地域展開～令和８年度の取組

休日

・令和８年度から休日の部活動は行わない。
・学校の部活動の教育的意義の継承・発展のため更なる活動展開を行う（日にち増やす）。
・令和８年度の津南町の地域クラブ活動
クロカンスキー、アルペンスキー、バドミントン、陸上（楽しむ）、水泳、バレーボール、ソフトテニス

平日

・令和８年度の完全な休日の部活動地域展開を元に平日の活動実施の検討を行う。
・可能な限り前倒しで試行を行う。よって平日の活動が可能な地域クラブから週に１回程度の取組からスタートする。
・令和８年度の津南町の地域クラブ活動
未定

出典：令和７年度第一回津南町部活動検討委員会資料より